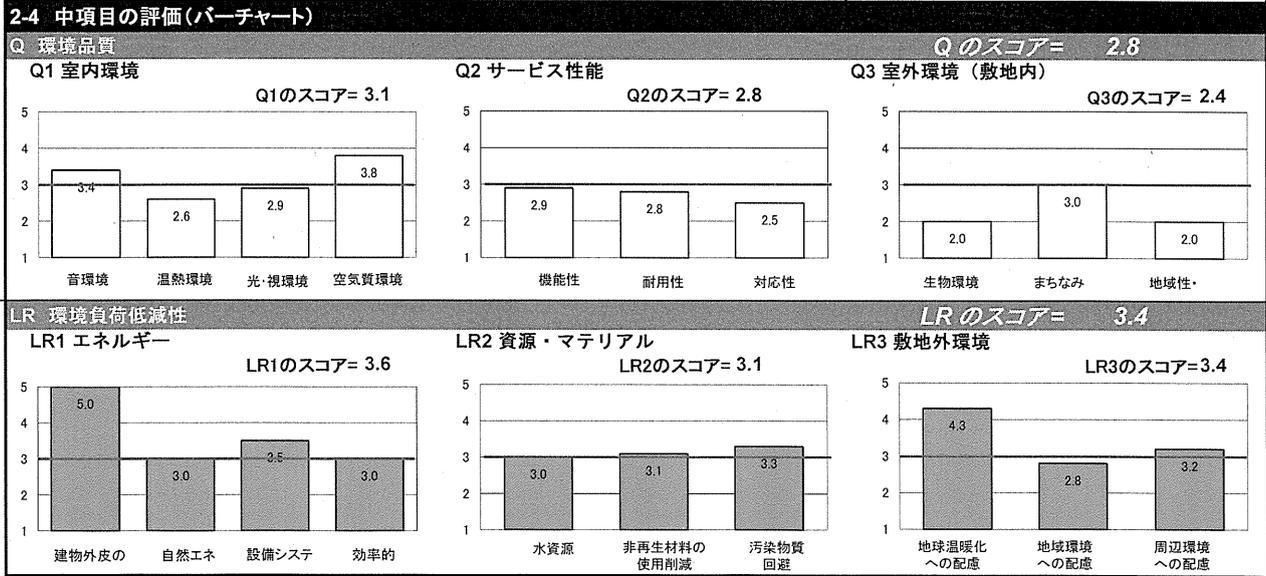
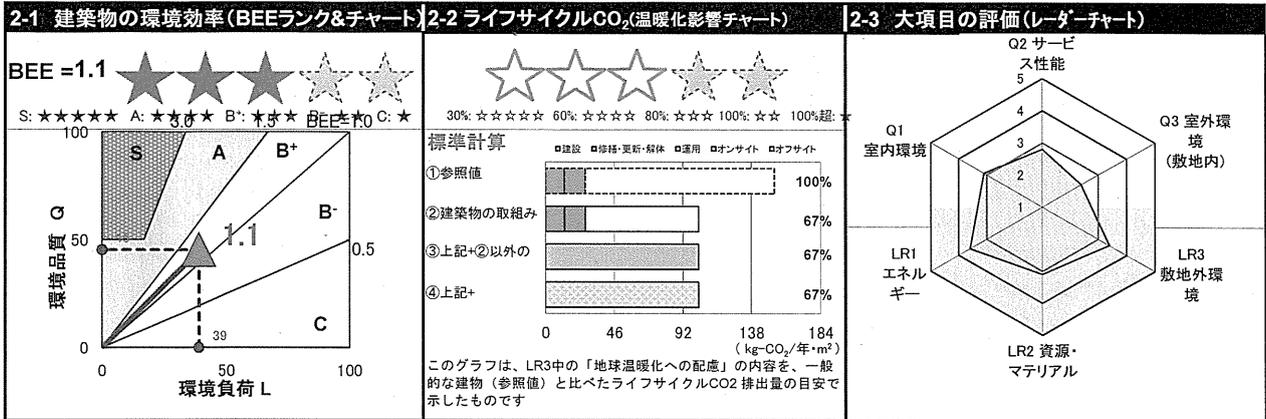


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福知山グリーンホテルモーリス新築工事	階数	地上11F
建設地	京都府福知山市駅前町500他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	260人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年8月 予定	評価の実施日	2025年4月29日
敷地面積	2,357㎡	作成者	田邊 薫
建築面積	939㎡	確認日	2025年7月11日
延床面積	6,782㎡	確認者	森下起弘

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 そして、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 また、建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍となっている	Q2 サービス性能 住居・宿泊部の天井高2.5m以上。 そして、通信配線は空配管内に設置されます。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI=0.79。 BEI=0.60。	LR2 資源・マテリアル LGS使用している。 そして、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率67%。 そして、燃焼機器を使用していない。 また、光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの全ての配慮事項を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される